

事例14

< 事例概要 >

人工骨頭置換術（再手術）

- ① 90 歳代、体重60 kg 台、大腿骨頸部骨折に対する骨接合術（髄内釘）後の患者。
- ② ラグスクリュー骨頭穿破・大腿骨頭壊死に対し、人工骨頭置換術を施行。
- ③ 開始時より赤血球液、昇圧薬を持続投与。術中は股関節の拘縮が強く手技が難航。髄腔から出血が多く、ステムの挿入で止血を試みた。血圧70 mmHg台となり補液負荷、さらに赤血球液と昇圧薬を数回投与。終了時Hb 10 g/dℓ 台。術中出血量1,340 mℓ。抜管時、全身チアノーゼあり。退室時血圧90 mmHg台、心拍数70 回/分台。
- ④ 病棟帰室後、赤血球液を追加投与。約1 時間後、血圧70 mmHg台となり、昇圧薬を増量。約9 時間後、ドレーン出血量90 mℓ。約12 時間後、Hb 10 g/dℓ 台、血清カリウム値が上昇しグルコース・インスリン療法を施行したが、術後2 日目に死亡。
- ⑤ 死因は、多臓器不全（高度肝血流障害の疑い）。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。